

2003年10月16日

会社名 株式会社 大丸
 コード番号 8234
 代表者名 取締役会長 奥田 務

2003年9月度 大丸 連結営業報告

1. セグメント別売上高対前年増減率(%)

	9 月 度	9 月 累 計
百貨店業	6.7	-
スーパーマーケット業	0.9	-
卸売業	5.5	-
その他事業	28.2	-
連結合計	2.2	-

(注) 売上高にはその他営業収入を含めていない。また、各事業の売上高には連結会社間の売上高を含む。

2. 百貨店業 売上高概況

1) 店舗別売上高対前年増減率(%)

	9 月 度		9 月 累 計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
心齋橋店	2.9	4.4	-	-
梅田店	3.0	6.8	-	-
東京店	0.3	0.1	-	-
京都店	4.1	4.1	-	-
山科店	1.3	-	-	-
神戸店	0.3	2.2	-	-
新長田店	9.5	-	-	-
須磨店	4.9	-	-	-
芦屋店	2.8	-	-	-
札幌店	-	-	-	-
直営10店舗計	8.7	-	-	-
" 除く札幌店	1.3	2.1	-	-
博多大丸	3.0	-	-	-
下関大丸	14.0	4.5	-	-
高知大丸	2.9	7.5	-	-
今治大丸	0.8	3.1	-	-
百貨店業合計	6.7(1.0)	-	-	-

(注)・博多大丸は本年3月より長崎大丸と合併したため、対前年増減率は長崎大丸分を含む。

・直営店の入店客数合計の対前年増減率は、心齋橋、梅田、東京、京都、神戸の5店計である。

・百貨店合計売上高の()内数値は、除く札幌店の既存店対前年増減率。

2) 札幌店(単位:百万円、千人)

	9 月 度		9 月 累 計	
	合計	入店客数	合計	入店客数
実 績	3,095	1,617	-	-

(売上動向)

- ・上期実績をみて下期目標値を、従来の173億円から185億円に上方修正。
- ・9月は29億円の修正目標に対して3,095百万円で6.7%増。
- ・商品部別では、阪神タイガースグッズを取り扱った紳士服・洋品や菓子・保存食品などの食料品の売上が好調であった。
- ・阪神タイガース優勝セールの上昇高があった一方で、26日に発生した十勝沖地震の影響で月末にかけて売上は目標値を大きく下回ったが、月度売上は目標値を6.7%上回った。

3) 直営店 商品別売上高対前年増減率(%)

	9 月 度		9 月 累 計	
	合計	除く札幌店	合計	除く札幌店
紳士服・洋品	8.3	0.3	-	-
婦人服・洋品	9.3	1.1	-	-
子供服・洋品	3.6	4.4	-	-
その他の衣料品	7.6	1.3	-	-
衣料品計	8.8	0.9	-	-
身の回り品	11.1	0.5	-	-
家具	14.3	6.5	-	-
家電	19.8	19.8	-	-
その他の家庭用品	2.6	3.7	-	-
家庭用品計	4.1	2.2	-	-
食 料 品	9.6	3.1	-	-
食堂・喫茶	18.4	6.3	-	-
雑 貨	7.5	1.5	-	-
サ ー ビ ス	37.5	33.7	-	-
そ の 他	36.7	38.9	-	-
合 計	8.7	1.3	-	-

3. 概況

1) 百貨店業

- ・9月の百貨店業全体の売上高は、対前年6.7%増、除く札幌店では、同 1.0%となった。
- ・店別売上高では、主要5店舗の内、梅田店だけが前年を上回った。
なお、東京店の前年売上には幕張メッセで開催された恐竜博の売店売上が含まれており、その売上を控除すると対前年3%強の増加となり、店頭での売上は好調であった。
- ・主要5店舗の入店客数は、阪神タイガース優勝の記念セールによる入店客数増があったが、京都店だけは、地下食品売場の改装工事(10月オープン)の影響(売場閉鎖など)が大きく、入店客数は対前年 4.1%となった。
- ・商品別では、月前半の残暑の影響で衣料品の動きが大変悪かった。後半、秋らしい季節になり好転したが、前半の大きいマイナス分を埋めることはできなかった。

2) その他

- ・博多・高知大丸の両社ともに、月前半の厳しい残暑で衣料品が大苦戦した。後半、気温が低下、売上も回復したが、前半の落ち込み分をカバーできず、売上高は前年を下回った。
- ・下関大丸は、営業日数が対前年1日増加、さらに前年は改装工事の影響で売場の閉鎖が発生しており、本年は対前年で増率が出易い状況にあった。
- ・スーパーマーケット業の大丸ピーコックの売上高は、対前年 0.9%であった。
関西地区(27店舗)の売上は対前年2.9%増、関東地区(38店舗)は同 2.5%であった。
関西地区では、阪神間の7店舗でタイガース優勝記念セールを実施、この嵩上げ効果が大きかった。
- ・卸売業の大丸興業売上高については、繊維・電子部品・釣道具などが悪く、対前年 5.5%であった。

お問い合わせ先	株式会社 大丸グループ本社	広報・IR推進部
	TEL	06-6281-9002
	FAX	06-6245-1343